

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 淀川区
学校名 塚本小学校
学校長名 森 政人

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらには、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・塚本小学校では、第6学年 88名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は64%で、大阪市を1ポイント、全国を2.8ポイント下回った。算数の平均正答率は54%で、大阪市・全国とともに、4ポイント下回った。理科の平均正答率は49%で、大阪市を6ポイント、全国を8.1ポイント下回った。

国語の平均無解答率は2.5%で、大阪市、全国いずれもより下回っており、算数の平均無解答率は3.6%と全国と同じで、最後まであきらめずに問題に取り組めていることがわかる。理科の平均無解答率は4.7%で、大阪市、全国いずれもより高く、苦戦したことが伺える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、大阪市を1.9ポイント全国を2.1ポイント上回り、「我が国の言語文化に関する事項」についても、大阪市を3.1ポイント全国を1.8ポイント上回った。これは、2月に団体受検している漢字能力検定に向けての学習や、日々の漢字学習を丁寧に行ってきました結果である。しかし、そのほかの領域については、大阪市、全国をいずれも下回り、大きな課題となった。

〔算数〕 昨年度末の大阪市学力経年調査では、「測定」「変化と関係」は大阪市を下回ったものの、「数と計算」「図形」「データの活用」の3領域については大阪市を上回ることができていた。今回の全国学力・学習状況調査においては、全ての領域において、大阪市、全国いずれも少しずつ下回る結果となった。今年度から、算数を研究の中心にして、学力の向上を目指していく。

〔理科〕 どの領域においても、大阪市、全国いずれも少しずつ下回る結果となった。特に、「『生命』を柱とする領域」は課題である。生物が関係する学習は時期的な要素が大切である。計画的な教材の準備、実物を第一とする指導を心がけ、実感を伴った理解ができるよう努めていくようとする。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に「当てはまる」と最も肯定的に答える児童は48.3%と全国を上回り、「当てはまらない」と最も否定的に答える児童は0%だったことから、自尊感情が高い児童が多いことがわかる。また、「人が困っているときは、進んで助けていますか」や「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に、肯定的に答える児童が、大阪市、全国より多いことから、他者への思いやりといった人権意識も育ってきていることが分かる。

「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」という質問に、1時間以上と答える児童は61.8%と大阪市や全国より10%近く高く、「全く勉強しない」と答える児童も0%だった。このことから、家庭学習に毎日きちんと取り組んでいる様子が分かる。

今後の取組(アクションプラン)

昨年度までの国語科の研究で培った対話的な学びを作る授業構成の工夫と、効果的な発問を生み出す教材研究を基に、今年度から、算数科の系統指導に関する研究を進めていく。また、算数科だけでなく、全ての教科において、ICT機器を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを重視した授業づくりに取り組んでいく。

校長経営戦略予算を使い、理科室の備品を整備・充実させていく。また、今年度は理科教育推進校となり理科補助員の配置があった。5・6年の理科授業における観察実験活動の補助や理科環境の整備を担ってもらい、理科授業の中に、実験や観察の学習を増やしていくようする。

【 全体の概要 】

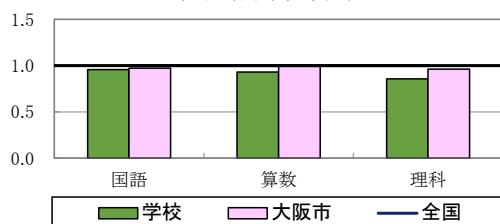
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	64	54	49
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

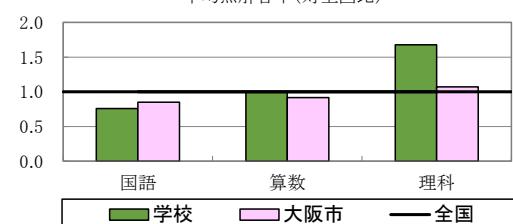
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.5	3.6	4.7
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



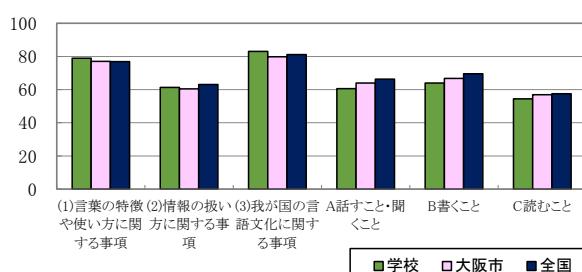
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	79.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	61.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	83.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	60.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	64.0	66.7	69.5
C 読むこと	4	54.5	56.9	57.5

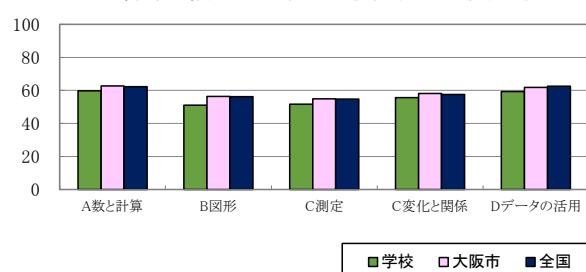
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	59.7	62.7	62.3
B 図形	4	51.1	56.4	56.2
C 測定	2	51.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	55.7	58.2	57.5
D データの活用	5	59.3	61.9	62.6

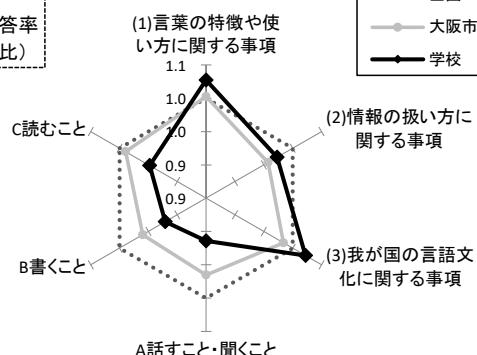
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



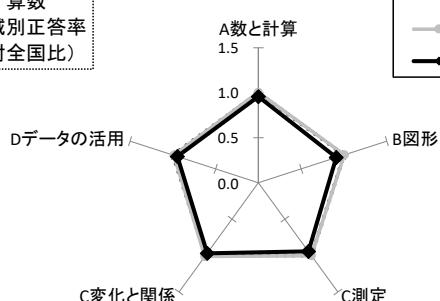
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率(対全国比)

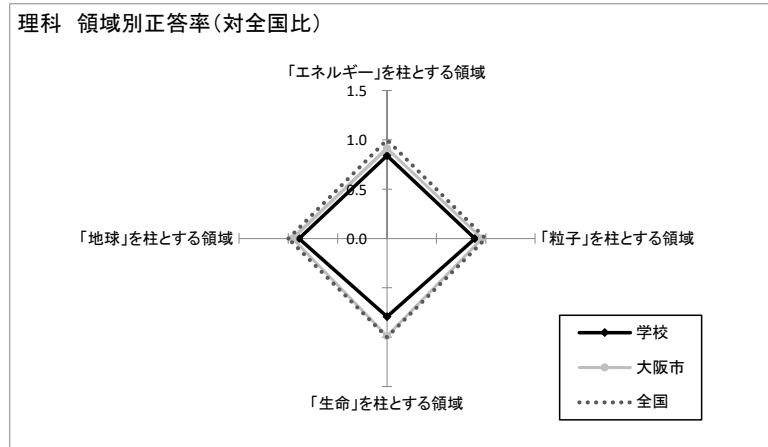
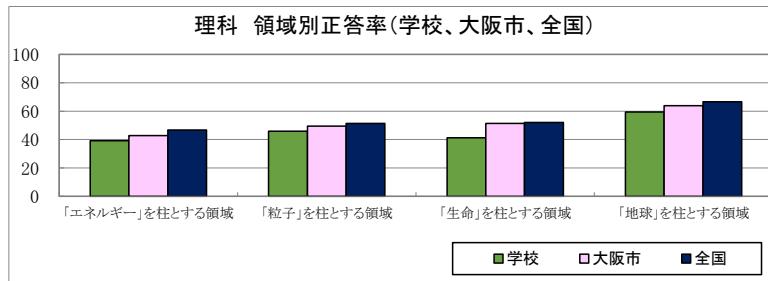


算数 領域別正答率(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	39.2	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	45.8	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	41.2	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	59.5	63.8



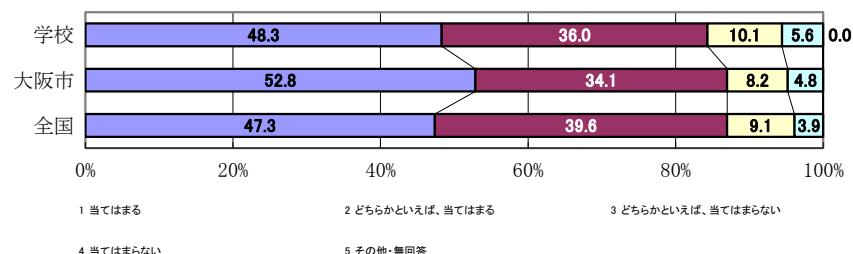
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

5

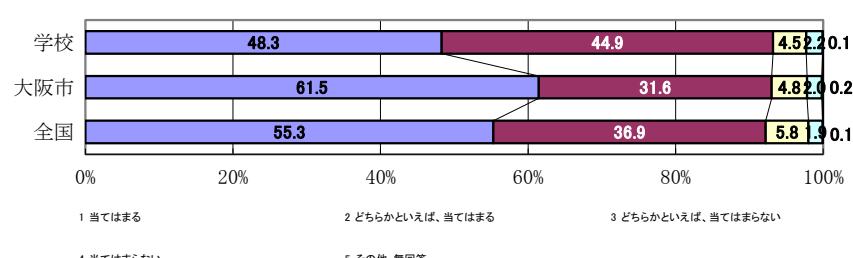
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

6

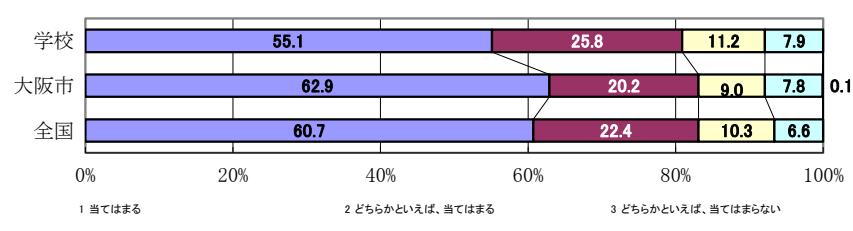
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

7

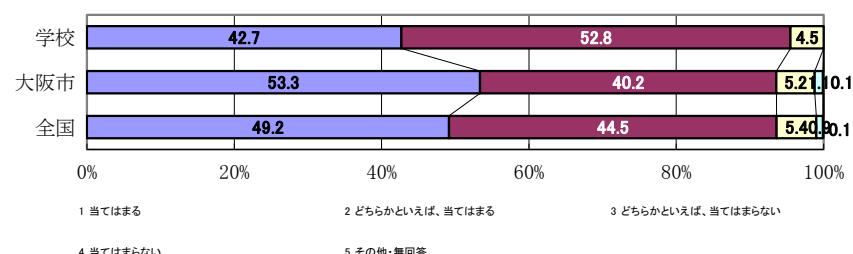
将来の夢や目標を持っていますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

8

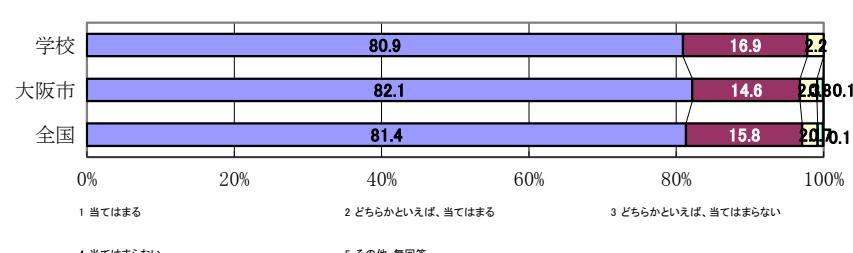
人が困っているときは、進んで助けていますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

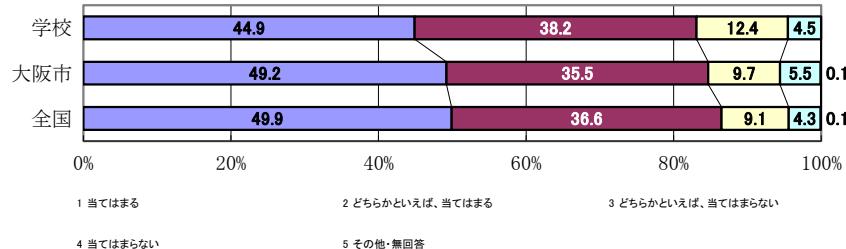
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

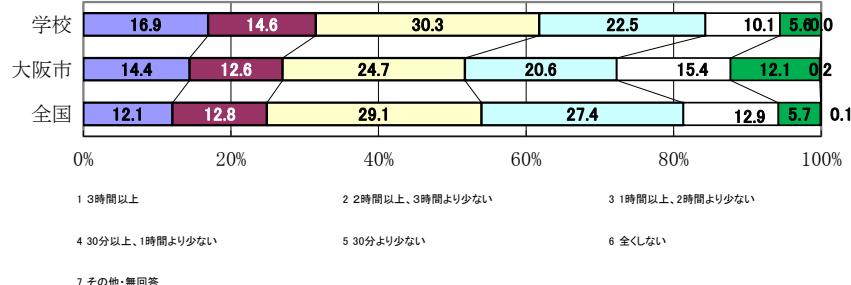
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



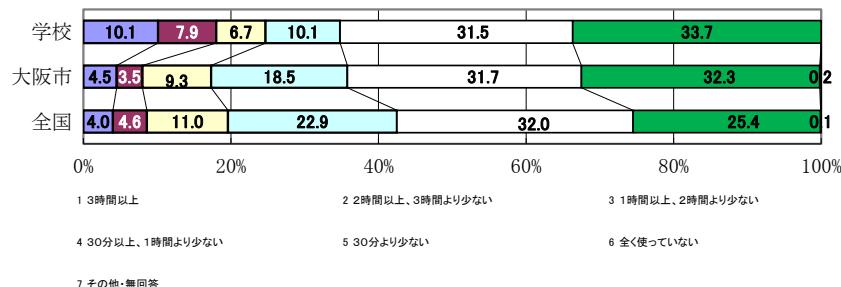
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



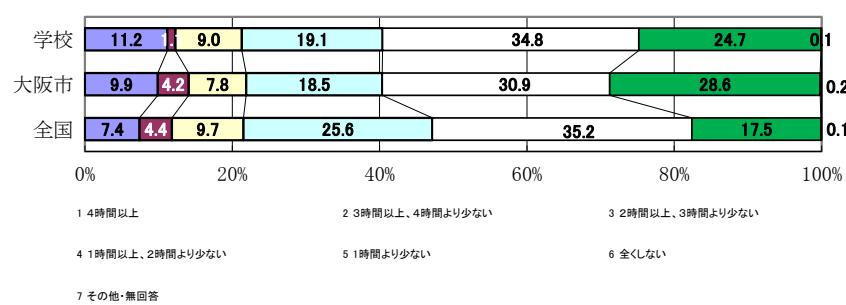
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



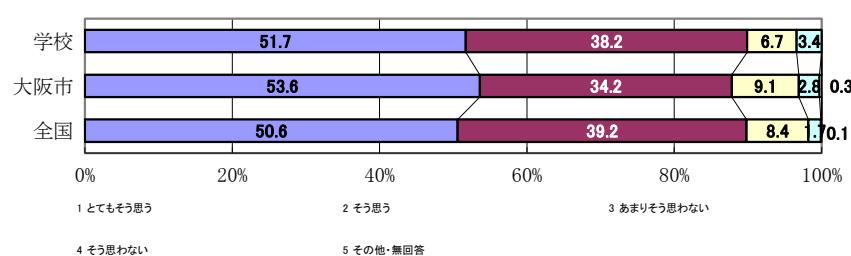
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



73

あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか



学校質問より

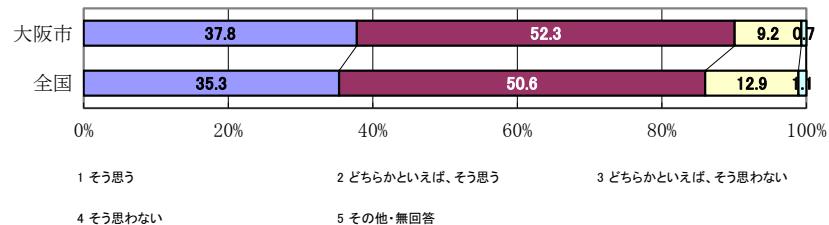
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち込んでいると思いますか

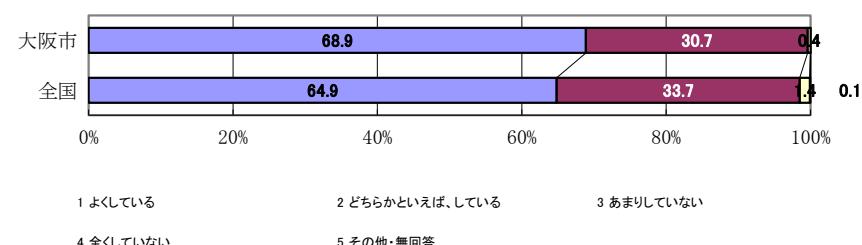
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

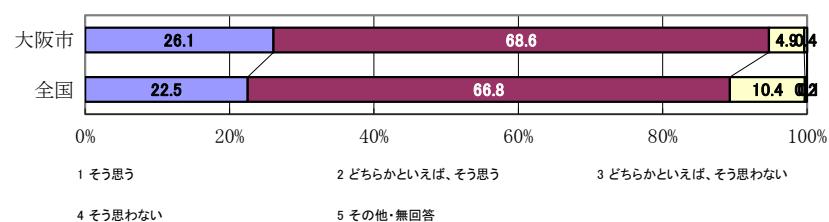
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

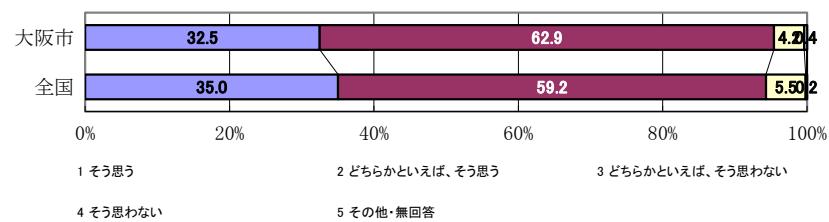
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



59

調査対象学年の児童が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「週3回以上」を選択

